

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立中小企業人材開発センター
 所管課 多様性社会・人材活躍推進局 労政人材育成課
 指定管理者 山梨県職業能力開発協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成23年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
山梨県職業能力開発協会		H23.4.1	～	H24.3.31	1年	16,594,000
山梨県職業能力開発協会		H24.4.1	～	H29.3.31	5年	67,436,000
山梨県職業能力開発協会		H29.4.1	～	R3.3.31	4年	56,165,208
山梨県職業能力開発協会		R3.4.1	～	R7.3.31	4年	58,749,000

2 施設の概要

所在地	甲府市大津町2130-2
設置年月日	平成23年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立中小企業人材開発センター設置及び管理条例
設置目的	労働者の職業能力の開発及び向上を促進するため、中小企業の事業主等の行う職業訓練を支援するとともに、技能検定試験を実施するための施設として、中小企業人材開発センターを設置する。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 3,927.77㎡ ○建築延面積 ・主たる建物 1,791.87㎡ ・附属建物 490.97㎡ ○建物の構造 ・主たる建物 鉄筋コンクリート造3階建 ・附属建物:鉄骨造平屋建 ○施設の内容 ・会議室(81㎡、24人) ・第1～6研修室(54㎡、20～30人) ・第7研修室(74㎡、30～45人) ・実習室(81㎡、20人) ・視聴覚室兼大研修室(192㎡、96～120人) ・多目的実習場(全面400㎡、半面200㎡) ・敷地内駐車場(44台)
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	H30.3.23 エアコン設置工事(7,128千円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	23,558,709	22,138,958	21,701,495	23,472,080	24,632,129	
支出合計	22,941,468	22,354,442	21,182,198	22,752,616	24,793,309	
収支差額	617,241	△ 215,484	519,297	719,464	△ 161,180	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	52,751人	17,344人	24,504人	27,754人	32,427人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

労働者の職業能力開発及び向上を促進するために、職業訓練や技能検定試験を実施する施設であり、より多くの企業等に利用してもらえるよう、利用者数増加及び稼働率向上を運営目標としている。
令和5年度は、新型コロナウイルスが5類に移行となったこともあり、前年に比べ利用人数の増加及び稼働率の増加が見られた研修室等があった。
そのため、利用料金収入は収支計画より増加し、施設全体の稼働率も48.09%と前年度の実績値は上回った。また、施設全体の利用者満足度は98%以上であった。

施設利用者数:運営目標35,550人 実績値32,427人
稼働率 :前年度実績43.41% 実績値48.09%

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

施設管理、運營業務、自主事業について、条例、協定及び業務計画に基づき、適正に履行された。
新型コロナウイルスが5類に移行となり、コロナ禍前の日常に戻りつつある中で、利用者からの要望に可能な限り答え、施設を利用しやすくなるよう努めたと考えられる。また、令和5年度の利用者数は目標値の9割を越えたものの、さらなる施設の周知・PRを図ることにより利用者数をコロナ禍前の水準に戻すことのできるよう努めること。

施設管理においては、施設の老朽化や電気料金高騰の影響を受けつつも、日常的な点検や不具合が発生した際の迅速な対応、こまめな節電対応など経費の節減に取り組んでおり、運営費の増加が抑えられている。

引き続きサービスの維持・向上に努め、新規利用者の獲得やリピーターの増加に取り組み、利用率の向上を図ること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

新型コロナウイルスが5類移行となり、今後利用者が増加していくことが見込まれる。令和5年度においても、施設利用者からの要望に可能な限り答え、施設利用者の満足度を高めることができている。また経年劣化した施設に対しては、日常的な点検や迅速な修繕を心がけることで、利用者が安全に利用できるよう努めている。

さらなる利用者の増加と稼働率の向上を図るため、環境整備や自主事業の見直し等に取り組んでいる。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立中小企業人材開発センター
 所管課 多様性社会・人材活躍推進局 労政人材育成課
 指定管理者 山梨県職業能力開発協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	認定職業訓練	985	301	526	514	535
	技能検定	7,582	3,186	6,201	6,168	6,941
	研修・講習	34,455	10,532	13,931	16,209	21,018
	会議・その他	9,729	3,325	3,846	4,863	3,933
	利用者数合計	52,751	17,344	24,504	27,754	32,427
	目標値	53,000	53,500	34,800	35,100	35,550
	実績/目標割合	99.5%	32.4%	70.4%	79.1%	91.2%
目標値の設定方法	平成28年度～令和元年度の利用実績の平均52,250人を令和3年度の目標とした。また、新型コロナウイルスの感染対策を講じた場合、施設全体の利用者数の上限が2/3程度となることから、感染対策を講じた場合の目標値を34,800名とし、両方を目標値と設定し、今後の動向に注視し決定する。 なお、令和4年度以降の目標値については、「通常時」を前年度目標値の450名増、「感染対策を講じた場合」を前年度目標値の300名増として設定。(令和5年度は、35,100+450=35,550人を目標値として設定)					
利用率	稼働率等(利用率)	48.6%	34.3%	38.7%	43.4%	48.1%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用室数/利用可能室数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨
----------	--------------------

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

管	1階男女トイレ手洗器排水管改修工事	193,160
管	外灯ランプ交換	117,700
管	給水用圧力タンク水漏れ修理	100,100

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	売り上げの10%	51,954	
1	随意契約	1本 8,148円(サービス商品除く)	29,650	
1	随意契約	0%	0	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	A 収入額計	23,558,709	22,138,958	21,701,495	23,472,080	24,632,129
	施設利用料	9,109,785	6,799,490	8,940,180	9,610,920	9,865,250
	指定管理委託料	14,162,000	14,430,208	12,437,216	13,605,000	14,469,639
	追加委託料(感染症)		668,468			
	自動販売機収入	87,936	44,764	71,667	63,760	81,604
	雑収入(施設利用者分)	198,960	196,000	252,400	192,400	215,600
	その他(預金利息)	28	28	32		36
支出	B 支出額計	22,941,468	22,354,442	21,182,198	22,752,616	24,793,309
	人件費	10,848,789	10,961,942	10,741,062	10,985,304	11,446,473
	旅費	444				
	修繕費	1,146,665	1,167,210	367,240	306,900	568,700
	光熱水費	4,474,400	3,234,217	3,881,382	5,334,018	5,820,112
	消耗品費	766,279	813,580	412,896	454,993	354,220
	賃借料	248,402	321,467	258,467	238,622	288,758
	印刷製本費	57,240	46,200	28,556		134,200
	燃料費	18,480	16,302	16,632	20,017	19,918
	保険料	37,880	37,880	37,880	37,880	37,880
	公租公課費	1,302,181	1,384,137	1,244,463	1,302,932	1,520,626
	通信運搬費	66,076	61,311	85,913	80,360	81,335
	手数料	537,141	541,074	543,774	483,989	477,719
	外部委託費	3,274,334	3,769,122	3,541,897	3,466,217	3,878,718
	清掃業務	1,348,584	1,355,722	1,376,767	1,376,767	1,376,768
	警備業務	601,680	607,200	594,000	594,000	594,000
保守点検業務	1,094,160	1,104,400	1,091,200	1,147,850	1,147,850	
害虫駆除	101,370	102,300	102,300	102,300	102,300	
ゴミ処理	128,540	181,500	253,330	121,000	218,900	
建築物点検		418,000	124,300	124,300	438,900	
外部委託比率	14.3%	16.9%	16.7%	15.2%	15.6%	
県への納付金	163,157		22,036	41,384	164,650	
収支差額(A-B)	617,241	△ 215,484	519,297	719,464	△ 161,180	

一人当たり指定管理者委託料*	268.5	832.0	507.6	490.2	446.2
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
C 収入額計	1,802,586	677,380	598,180	1,060,370	1,043,240
D 支出額計	1,759,185	1,999,150	604,029	948,309	860,768
収支差額(C-D)	43,401	△ 1,321,770	△ 5,849	112,061	182,472

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	ものづくり講座	一般	中小企業人材開発センター 研修室・実習棟
2	親子ものづくり講座	親子	中小企業人材開発センター 研修室・実習棟
3	キャリア促進講座	一般	中小企業人材開発センター 研修室
4	講師派遣事業	労働者	中小企業人材開発センター 研修室

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>令和5年度も引き続き、清掃、消毒作業を行うと共に、換気を徹底するなど、清潔で安心して使用していただける施設、設備を提供するよう努めた。</p> <p>また、施設や設備を安全に利用していたくために職員による清掃時の目視点検や、設備貸出前日の動作確認、また専門業者による各種点検を行った。</p>	<p>事業計画の施設の維持に関する業務に基づき、適正に実施されている。</p> <p>また、新型コロナウイルスが5類に移行したが、消毒の実施及び換気を引き続き行っていることや日常的な目視点検、専門業者への点検の委託等を行っており、適正な施設管理が行われている。</p> <p>引き続き、関係法令を遵守し、利用者にとって安全で快適な施設管理に努めること。</p>
運営業務	<p>条例及び利用規程に基づいて管理運営を行った。</p> <p>運営方針である、労働者の職業訓練を支援する施設、技能検定を実施するための施設として不備がないよう業務を執行した。</p>	<p>条例及び利用規程に基づき、適正に運営されている。利用者の満足度も「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%であり、利用者の立場を考えた運営が行われていると評価できる。</p>
利用状況	<p>令和4年度と比較し、稼働率、利用者数、共に上回る事ができた。</p> <p>コロナ禍では、各研修室の定員を1/3に減らしていたが、5類感染症へ移行後は、各研修室の定員を2/3へ増やした。</p> <p>職業訓練、利用を増加させることが今後の課題である。</p>	<p>利用者数は目標値にあと一步のところまで届かなかったが、前年よりも増やすことができている。また、稼働率の状況を見るとコロナ禍前の水準まで戻りつつあり、高く評価することができる。</p> <p>引き続き、コロナ禍明けの利用者ニーズを考慮しながら講習内容等を検討するとともに、積極的なPR活動を行い、できる限り利用者の増加及び稼働率の向上に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>利用料金収入は予算額に対して上回る事ができたが、支出は光熱費の高騰や施設の老朽化による施設修繕により、予算額を上回った。</p>	<p>安心して利用できる施設の管理運営と利用者への丁寧な対応により、大研修室を中心に利用率が高まり、前年収入実績及び計画を上回る程の収入に繋がったことは高く評価できる。</p> <p>支出については、賃金の上昇や物価高騰等の影響を受けながらも県の電気調達一括入札に参加するなど、経費削減に努めている。引き続き施設の魅力を維持しながら、さらなる経費の削減等に取り組むこと。</p>
自主事業	<p>親子を対象としたものづくり講座の開催や、生活技術向上のための松の手入れ教室等を開催し、さまざまな年代へのアプローチを行い利用促進につなげた。</p> <p>令和6年度以降も更なる利用者が増えるよう、広報活動を行っていく。</p>	<p>自主事業は計画書に基づき、適正に実施されており、収支状況については令和元年以降で最も良い結果となっている。</p> <p>様々な世代へのアプローチは重要であり、今後も利用者ニーズを把握し、効果的な事業を計画して施設の稼働率の向上に努めること。</p>
利用者満足度	<p>概ね満足度は高い傾向であるが、一部で室内温度に対する不満の声も上がっている。一方では、“使いやすい”“また利用したい”等高い評価をいただくことが多い。</p> <p>引き続き、要望等に添えるように対応していきたい。</p>	<p>利用者満足度は高く、利用者の立場に立った運営がされていると評価できるが、利用者からの不満や要望などに対して可能な限り応え、さらに利用しやすい施設作りを目指すこと。また、新たな利用者の確保とリピーターの増加を図るため、より一層のサービスの向上と事業の見直し等に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
技能検定試験による施設利用者の確保	<p>技能検定の受検促進を図るため、技能検定による施設利用者数を評価指標とし、年間目標値を5,185人に設定。 各学校や企業への通知やHPで周知し、実績が6,941人となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>県内の関係機関と連携し、学校や企業等に技能検定受検のメリット等を伝え、引き続き受検者の確保を図ること。</p>
職業訓練や研修・講習による施設利用者の確保	<p>職業能力の開発・向上の促進を図るため、職業訓練や企業従業員向けの研修・講習による施設利用者数を評価指標とし、年間目標値を14,004人に設定。 実績は21,553人と目標を上回り、令和2年度以降徐々に施設利用者が増加してきており、今後も周知・PR活動に力を入れ、さらなる利用者の確保を図る。</p>	<p>引き続き、コロナ禍明けの企業ニーズ等に沿った人材育成の場として施設を利用していただけよう周知・PRを積極的に行い、さらなる利用者の確保を図ること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

